

# 平成26年度「全国学力・学習状況調査」検証シート

榎本小学校

児童数

124

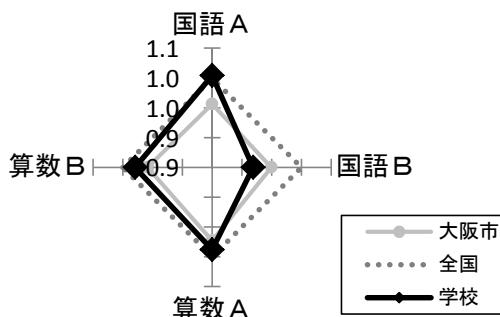
## 平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	73.2	51.0	77.2	57.0
大阪市	69.7	52.7	76.0	55.8
全国	72.9	55.5	78.1	58.2

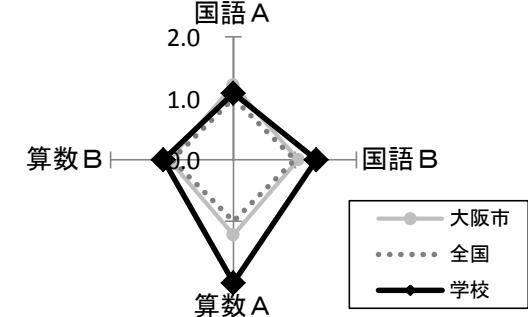
## 平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	2.5	12.4	1.8	4.9
大阪市	2.8	9.7	1.1	4.5
全国	2.3	9.2	0.9	4.3

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



## 結果の概要

- 2教科(国語・算数)の問題は、合計16領域あるが、そのうち4領域で全国を、11領域において大阪市を上回っていることは特筆すべき点である。
- 全国で上回っている領域(国語・算数の2教科)をA・B別にみると(上回っている/全領域数)、A問題…3/8、B問題…1/8となり、知識問題の方が好結果である。
- 国語B問題では4領域とも全国・市を下回っており、原因の分析とともに、今後重点的に効果的な指導を図っていく必要がある。
- 無回答率がほとんどの領域で、全国・市ともに上回っていることは、今回の結果を見るうえでは、重要な課題と考える。原因の分析とともに、効果的な対策を講じる必要性を痛感する。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

### <学校としての取り組み>

- 『生き抜く力』を育成する教育活動を創造する一子どもに寄り添い、自尊感情を高める一という学校目標を定め、各教科から目標の達成に向けてアプローチするとともに、細やかな教育を推し進めてきた。
- 「校長戦略予算」、「がんばる先生支援事業」の承認を受け、地域・保護者と密な連携を図りながら、「心・学力・体力」の3方向をバランスよく養うことで、「生き抜く力」の育成を図ることができると考え、取り組んできた。

### <国語> ○…成果 ●…課題

○AB合わせて8領域あるが、「話すこと・聞くこと」と「読むこと」の2領域が全国・市を上回っている。また、3領域で市を上回っている。この結果は、普段の授業の成果が徐々に表れてきていると考えられる。

●Bの4領域のうち、3領域が全国・市を下回っており、実生活に応じた学力を育成するための授業を構築していく必要がある

### <算数> ○…成果 ●…課題

○AB合わせて8領域のうち、2領域が全国・市を上回り、残りの6領域全てが市を上回っているのは大いに特筆できる。

●8領域全てについて、全国・市を上回る指導を心がけたい。

### <生活・学習習慣>

家庭・地域と連携を図りながら、生活・学習習慣の向上を図ることが急務である。

## 【国語】

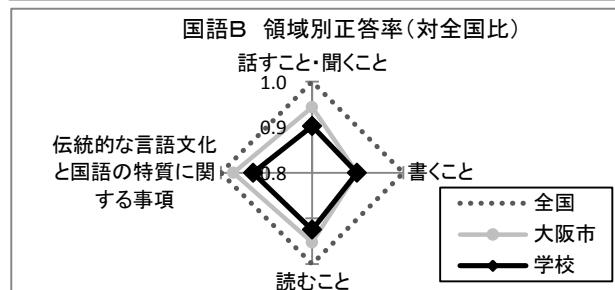
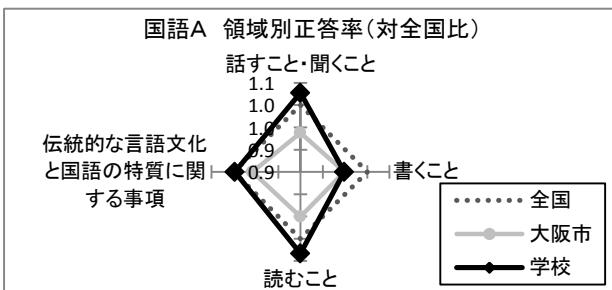
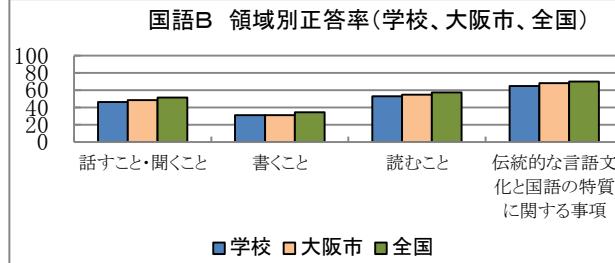
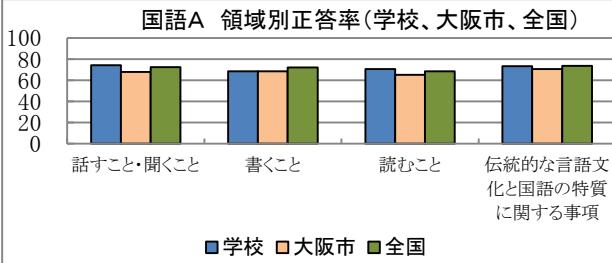
### 結果の概要

○A問題では2領域で全国・大阪市とも上回っていることは特筆すべき点である。このことは質問紙52の結果と結びついていると思われる。

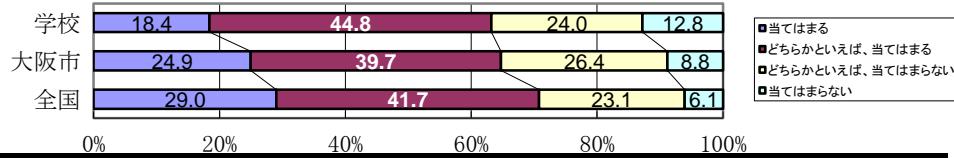
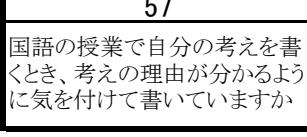
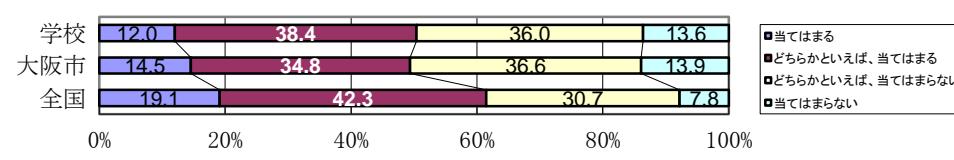
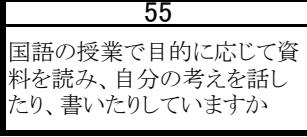
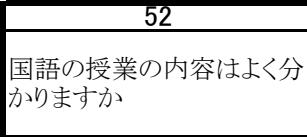
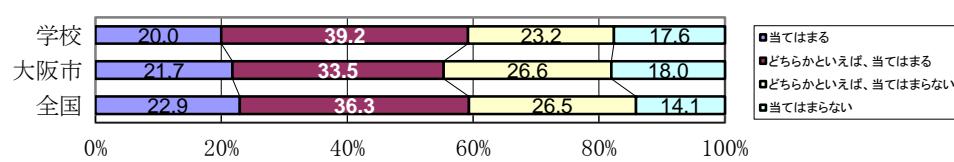
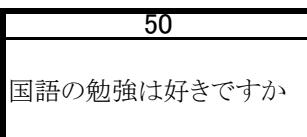
●「書くこと」がABともに全国を大きく下回っている。これは質問紙55・57とも関連があり、結果を真摯に受け止め、「書くこと」に重きを置いた授業の改善が必要である。

A 問 題	平均正答率(%)																						
	学校	大阪市	全国																				
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	74.4	67.9																			
	書くこと	3	68.5	68.5																			
	読むこと	2	70.8	65.1																			
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	12	73.5	70.6																			
国語A 領域別正答率(学校、大阪市、全国)																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th>学校</th> <th>大阪市</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話すこと・聞くこと</td> <td>74.4</td> <td>67.9</td> <td>72.4</td> </tr> <tr> <td>書くこと</td> <td>68.5</td> <td>68.5</td> <td>72.2</td> </tr> <tr> <td>読むこと</td> <td>70.8</td> <td>65.1</td> <td>68.5</td> </tr> <tr> <td>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</td> <td>73.5</td> <td>70.6</td> <td>73.7</td> </tr> </tbody> </table>				領域	学校	大阪市	全国	話すこと・聞くこと	74.4	67.9	72.4	書くこと	68.5	68.5	72.2	読むこと	70.8	65.1	68.5	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.5	70.6	73.7
領域	学校	大阪市	全国																				
話すこと・聞くこと	74.4	67.9	72.4																				
書くこと	68.5	68.5	72.2																				
読むこと	70.8	65.1	68.5																				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.5	70.6	73.7																				

B 問 題	平均正答率(%)																						
	学校	大阪市	全国																				
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	46.2	48.3																			
	書くこと	3	30.9	30.9																			
	読むこと	7	53.0	54.6																			
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	64.9	67.9																			
国語B 領域別正答率(学校、大阪市、全国)																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th> <th>学校</th> <th>大阪市</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話すこと・聞くこと</td> <td>46.2</td> <td>48.3</td> <td>51.2</td> </tr> <tr> <td>書くこと</td> <td>30.9</td> <td>30.9</td> <td>34.4</td> </tr> <tr> <td>読むこと</td> <td>53.0</td> <td>54.6</td> <td>57.3</td> </tr> <tr> <td>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</td> <td>64.9</td> <td>67.9</td> <td>69.8</td> </tr> </tbody> </table>				領域	学校	大阪市	全国	話すこと・聞くこと	46.2	48.3	51.2	書くこと	30.9	30.9	34.4	読むこと	53.0	54.6	57.3	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	64.9	67.9	69.8
領域	学校	大阪市	全国																				
話すこと・聞くこと	46.2	48.3	51.2																				
書くこと	30.9	30.9	34.4																				
読むこと	53.0	54.6	57.3																				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	64.9	67.9	69.8																				



### 国語に関する「児童質問紙」



### 成果と課題

○日々の指導の工夫により、2領域で全国・市を上回っている。さらに、児童の興味・関心に応じた2領域の授業を行っていく。

●「話すこと・書くこと」は、重点的に指導していくことが急務である。

### 今後の取組

・好成績であった2領域について、さらに指導の工夫を行うとともに、今後は、「話すこと・書くこと」を取り入れた授業を展開したい。そのことが、質問50の数値アップにつながってくると考えられる。

## 【算数】

### 結果の概要

○AAB合わせて8領域のうち、2領域が全国・市を上回っていることは大いに評価できる。

さらに、授業の工夫・研究を深めていく。

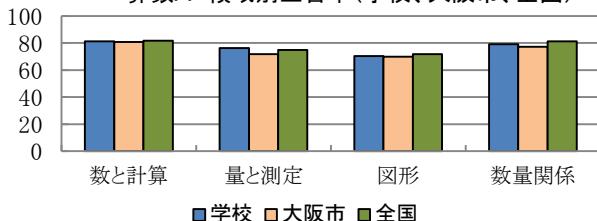
●残りの領域も、全て全国・市を上回るよう、さらに“わかりやすい授業”を追究する必要がある。

### A 問題

#### 平均正答率(%)

学習指導要領の領域等		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
数と計算	8	81.2	80.8	81.8
量と測定	3	76.3	71.8	74.8
図形	4	70.4	70.0	71.8
数量関係	3	79.2	77.2	81.3

算数A 領域別正答率(学校、大阪市、全国)

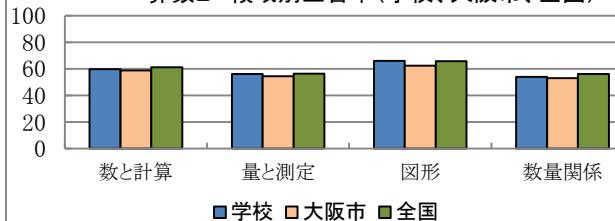


### B 問題

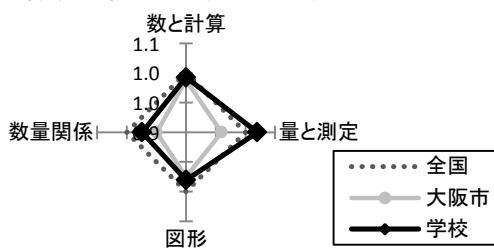
#### 平均正答率(%)

学習指導要領の領域等		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
数と計算	8	59.8	58.9	61.3
量と測定	5	56.1	54.4	56.5
図形	1	66.1	62.5	65.7
数量関係	5	53.9	52.9	56.2

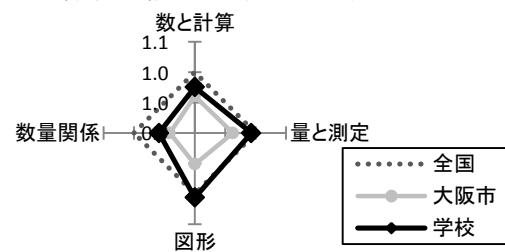
算数B 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



算数A 領域別正答率(対全国比)



算数B 領域別正答率(対全国比)



### 算数に関する「児童質問紙」

62

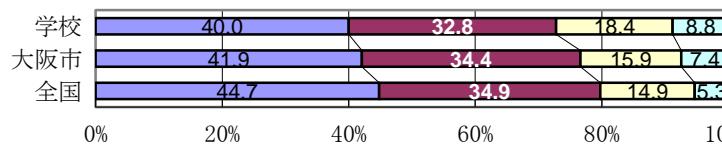
算数の勉強は好きですか



- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

64

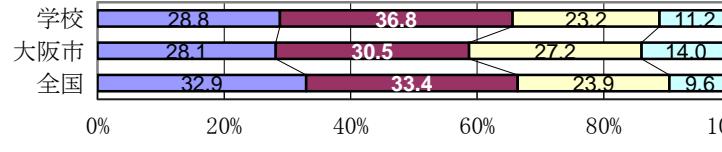
算数の授業の内容はよく分かれていますか



- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

67

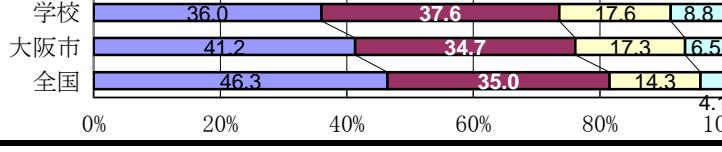
算数の授業で学習したこと、普段の生活の中で活用できないか考えますか



- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

70

算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか



- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

### 成果と課題

○算数科指導の研究の取組や一人ひとりに応じた指導の工夫により、2領域が全国・市を上回わり、残り6領域が市を上回っているのは、大きな成果である。

●6領域について、さらにきめ細かな指導を行っていく必要がある。

### 今後の取組

・全領域について、指導法の研究をさらに深めるとともに、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を充実させる。そのことにより、質問事項の数値がすべてアップすると考えられる。

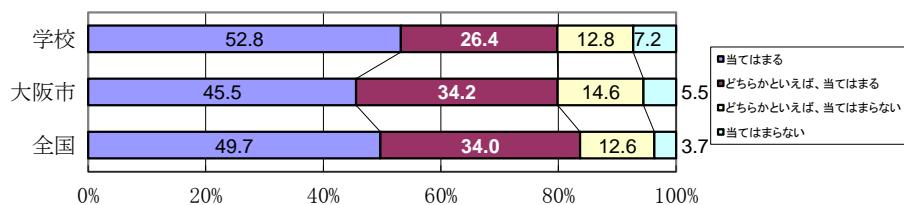
## 学びの充実に向けて(1)

### 結果の概要

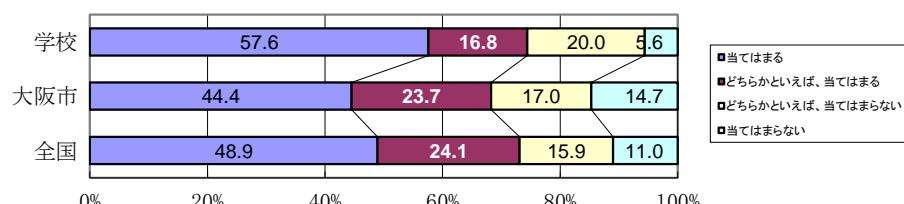
- ・質問事項の42.53の好結果は、本校のこれまでの取り組みの成果ととらえたい。特に、「朝の読書」は毎水曜日に全校あげて実施しており、読書に対する興味・関心が深まり、読書意欲が高まっている証しと考えられる。
- ・国語の「聞くこと・話すこと」の領域が全国・市を上回っているにもかかわらず、48項目の数値が低いのは子どもどうしの話し合い活動が十分になされていない結果であるととらえられる。

質問番号	質問事項
------	------

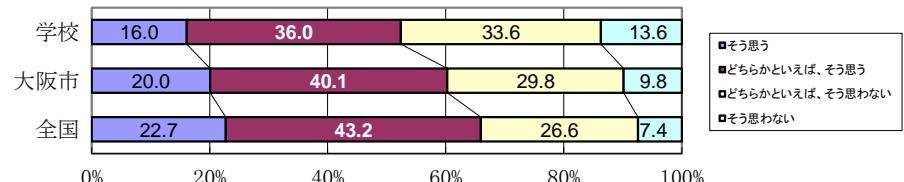
42
5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか



53
読書は好きですか



48
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



### 成果と課題

○全校あげての「朝の読書タイム」(毎水曜日)を設定した継続した取り組みの結果、読書に対する児童の興味・関心が深まっていることがうかがえる。昨年度が低数値だったので、うれしい結果である。

●授業中の話し合い活動は工夫して、学習内容の定着を図っているが、児童どうしの話し合い活動になると、まだまだ不十分であると考えられる。

### 今後の取組

・「朝の読書タイム」をさらに充実させるとともに、関係諸機関や保護者・地域の方とさらに連携した取り組みに発展させたい。

・日常の問題を、できるだけ児童相互の話し合い活動の場で解決できるような取り組みをすすめていく。

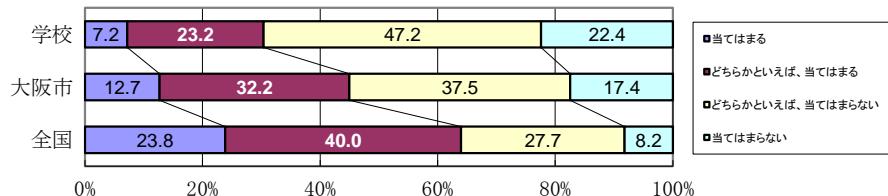
## 学びの充実に向けて(2)

### 結果の概要

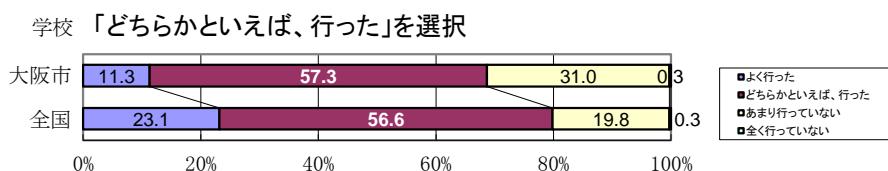
- ・「総合的な学習の時間」については、計画的にすすめているものの、「整理」「調べ」「発表する」という一連の学習過程を着実に行えていないことがわかる。
- ・42.30.41の質問項目については、学校として「よく行った」という領域になるよう、重点的に取り組んでいきたい。
- ・43の項目も、授業の中に「話し合い活動」や「調べ学習」を効果的に組み入れる必要性を感じる結果である。

質問番号	質問事項
------	------

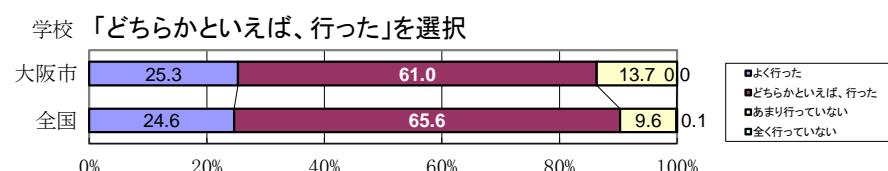
40
「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



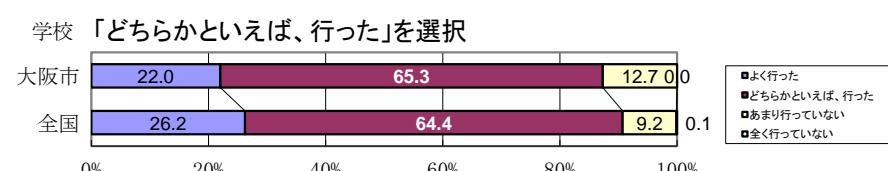
42(学校質問紙)
総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか



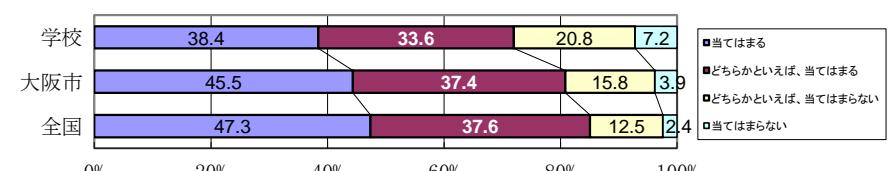
30(学校質問紙)
各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか



41(学校質問紙)
自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか



43
5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか



### 成果と課題

- 授業に「話し合い活動」「言語活動」を積極的に取り入れることをすすめている。結果としては、数値は低いが着実に向上している実感がある。
- より一層、授業に「話し合い活動」「言語活動」を積極的に取り入れる必要がある。

### 今後の取組

- ・あらゆる教科を通じて、「話し合い活動」「言語活動」を積極的に取り入れる。
- ・より一層、「総合的な学習の時間」を計画的に取り組んでいく。

## 基本的生活習慣

### 結果の概要

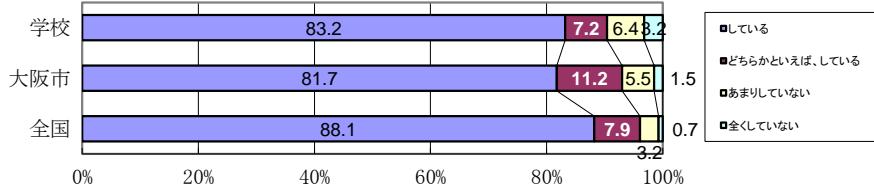
- ・「朝食」の「している」項目は、昨年より1.1ポイント上昇し、市を上回ったのは、特筆すべきことである。
- ・「起きる時刻」の「している」項目は、昨年より30ポイント近く上昇した。家庭の協力が感じられる。
- ・12.13は、今年からの項目であり、「4時間以上」が市とほぼ同じ数値を示している。

1

質問番号	質問事項
------	------

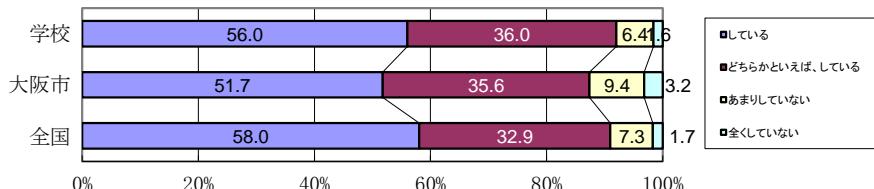
1

朝食を毎日食べていますか



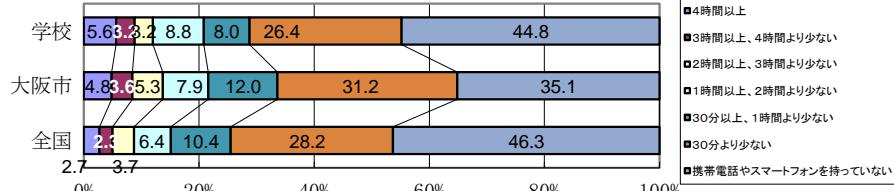
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



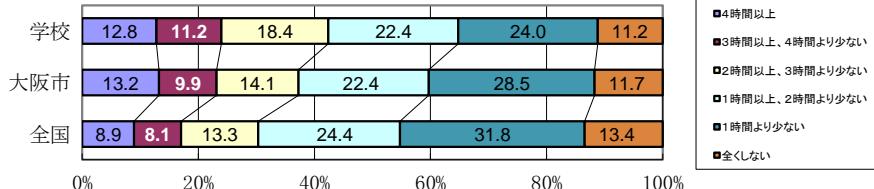
13

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか  
(ゲームは除く)



12

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム等含む)をしますか



### 成果と課題

○学校と家庭との連携が図られ、「朝食」「起きる時刻」が昨年より好結果になった。

○学校と家庭との連携が図られ、「携帯」「ゲーム」の数値が、ほぼ市と同じ結果を示した。

●「携帯」「ゲーム」の数値を全国レベルまで高める必要がある。

### 今後の取組

- ・「朝食」「起きる時刻」については、保健指導と絡ませて、より一層指導を図っていく。
- ・「携帯」「ゲーム」については、関連企業の出前授業や保健、生活指導と絡ませて、重点して指導をする必要がある。

## 家庭学習

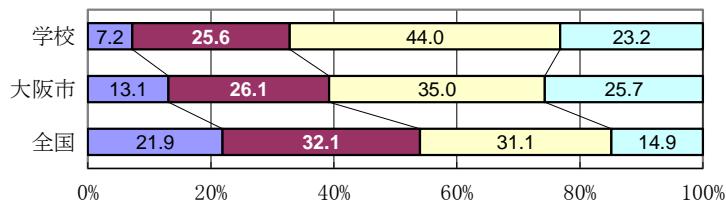
### 結果の概要

- ・24の「家で復習」はわずかであるが、昨年より好数値を示している。
- ・21の「家で計画的な勉強」は、全国・市ともに下回っている。
- ・14の「家の学習時間」の「3時間以上」の項目は、全国・市を上回っているものの、「2時間～1時間」の項目は、全国・市より低い数値を示している。

質問番号	質問事項
------	------

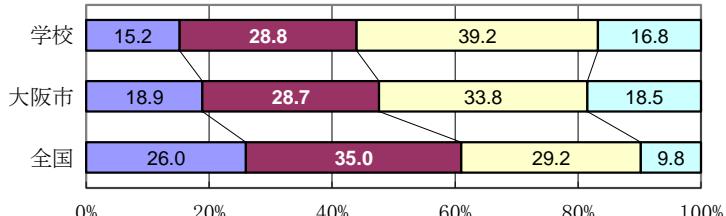
24

家で、学校の授業の復習をしていますか



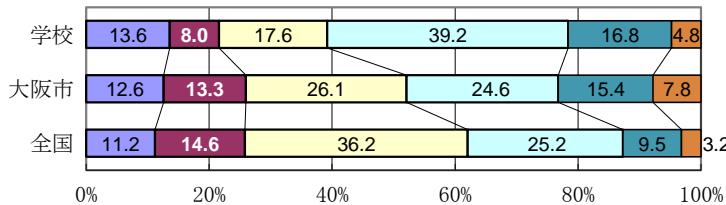
21

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



14

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)



### 成果と課題

○わずかながら、「家の復習」のポイントが上がったことは、家庭との連携や自学自習の習慣が育成されつつあることを感じる。

●「家の計画的な勉強」「3時間以上の家庭学習」については、学校での指導とともに、家庭との連携を図りながら取り組んでいく必要がある。

### 今後の取組

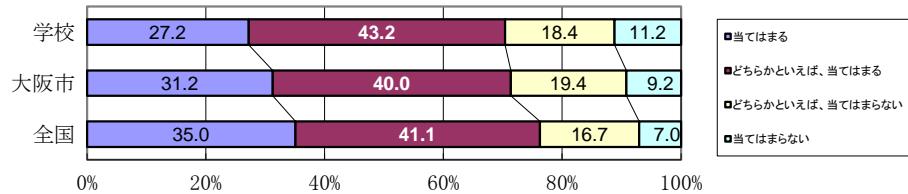
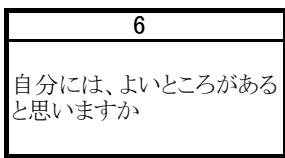
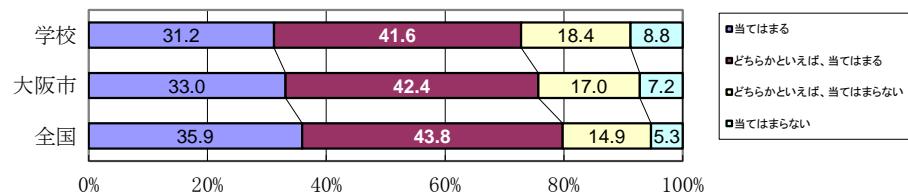
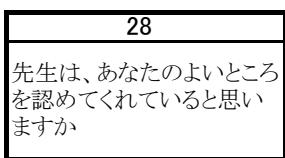
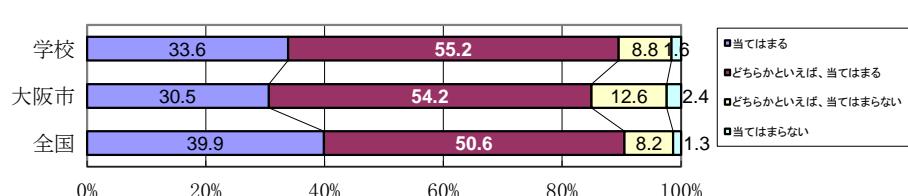
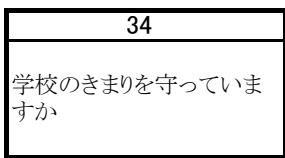
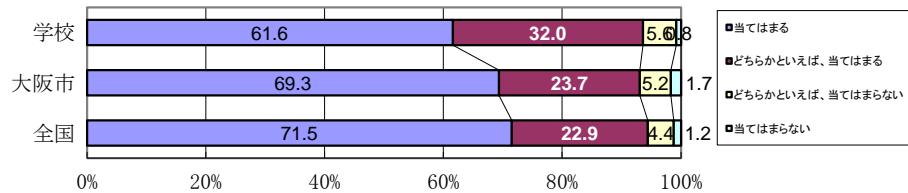
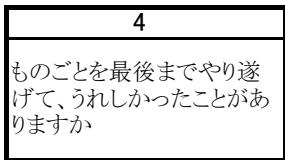
- ・自学自習の習慣が身に付くよう、学校と家庭、また、地域との連携を図りながらすすめる。
- ・「生き抜く力」育成のため、将来を見据えた日常の指導を工夫していく。

## 自尊感情・規範意識

### 結果の概要

- 「きまりを守る」の「当てはまる」の項目は、昨年より約10ポイントアップしている。全国には及ばないものの、市より上回っているのは特筆すべきである。(昨年は、全国・市より下回っていた)
- 質問項目6は、昨年と比べると「当てはまる」が10ポイント、「どちらかといえば当てはまる」が4ポイントアップしている。本校学校経営の柱である「自尊感情を高める」という目標に迫りつつあることを感じる。
- 上記の結果に比べ、質問項目28の結果の結果は、教職員のかかわり方がまだまだ不十分なことを示しており、深刻に真摯に受け止めることを痛感する。

質問番号	質問事項
------	------



### 成果と課題

○規範意識の「きまりを守る」の数値が、市より好結果を示しているのは、一貫した指導に取り組んでいることと、家庭・地域との連携の結果であると考えられる。

●自尊感情「自分にはよいところがある」を全国・市を上回るように、「ほめて、励ます」指導をより一層、重点的に取り組んでいく必要性がある。

### 今後の取組

- 「ほめて、励ます」指導を、より一層重点的に取り組むことにより、児童の自尊感情育成を図りたい。
- 自尊感情の育成とともに、自尊感情を方向づける「規範意識の育成」についても、より一層、同時並行して重点的に取り組みたい。

## 学校・家庭・地域の連携

### 結果の概要

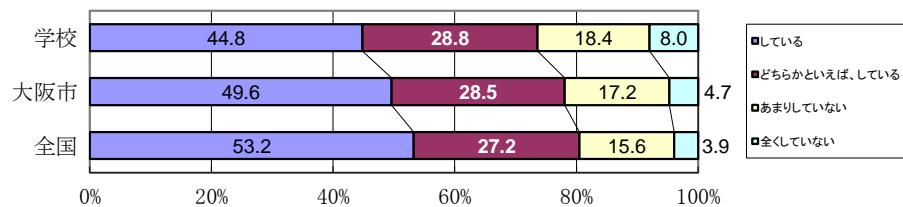
- 全ての質問項目が全国・市を下回っている。「学校・家庭・地域連携」が、本校の学校経営の柱の一つであるにもかかわらず、低い数値である。
- 全て全国・市を下回っている。学校としてさらに積極的な発信の必要がある。

質問番号	質問事項
------	------

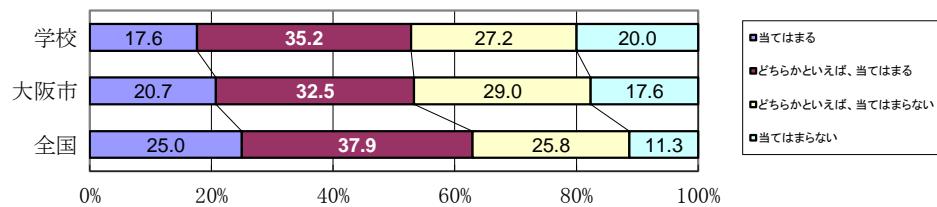
20
家人の人(兄弟姉妹除く)は授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか



19
家人の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか



30
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



### 成果と課題

- 質問項目20は、全国・市を下回っているものの、「よく来る」「時々来る」を合わせると、94%になる。徐々にではあるが、保護者の方が来校されるのが増えつつあるのが感じられる。
- 質問項目30の数値の低さは、大きな課題である。世の中、周りの人に対する意識が低いことがうかがえる。

### 今後の取組

- ・人とのかかわりの大切さ、周りの人に関する心を持つことの大切さを家庭・地域と連携して、指導していきたい。
- ・学校から、さらに積極的に発信していくとともに、家庭・地域なお一層、連携し、交流を深めたい。

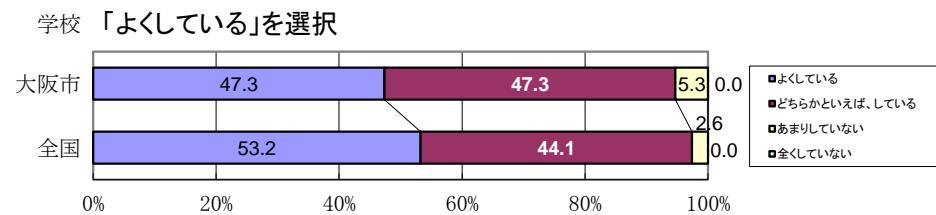
## 学校組織の改善

### 結果の概要

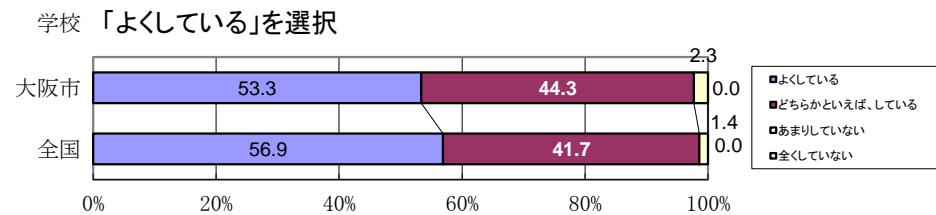
- ・100.98の項目について、本校は「よくしている」と答えたが、全国からみると、低い数値になっている。
- ・本年から全市あげて「全教員が研究授業をする」ことになった。91の項目の数値はその結果であろう。本校も、全教員が研究授業を行い、授業力の向上を図った。

質問番号	質問事項
------	------

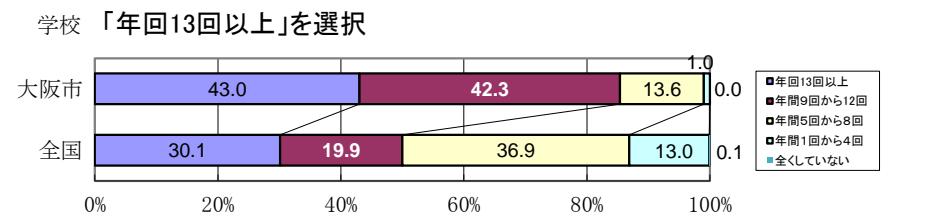
100【学校質問紙】
学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか



98【学校質問紙】
学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか



91【学校質問紙】
授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか



### 成果と課題

- 全ての項目について、本校は積極的に取り組んでいる。市としては全国より下回っているが、大阪市の施策、方針に沿った教育活動を展開している。
- 全市あげてさらに積極的に取り組み、全国に追いつき、追い越す成果を上げる必要がある。

### 今後の取組

- ・今後も“チームえのもど”として、全教職員が心をひとつにして、よりよい学校づくりに邁進したい。
- ・今後も、全教員が研究授業を行い、充実した校内研修会を重ねて、授業力を高めたい。